

## シラバス

科目名	空間表現基礎1	必修	選択	担当教員	小笛和子 実務経験有	連絡先	
学科・学年	建築	学科	1学年	授業概要  手描きベース作製の指導・実習を行う。住宅のインテリア空間及び外観をスケッチ、ベース(簡略図法)で立ち上げインキングや着彩を行う。 実務経験…Aiiro Koubou主宰 長年の手描きベース制作の技術経験を活かし、実務で役立つ手描き表現の技術を伝授する。			
授業数	3時間 × 15週 合計 45時間		3単位				
授業期間	前期・後期・通年・集中						
授業形態	講義・演習・実習(50分/コマ)						
教科書・教材	役立つテクニック「アクティブベース」マーカー・トレベパッド・色鉛筆・製図道具一式						
評価基準	定期試験・臨時試験等 課題・レポート 出席数・授業態度 その他( )	% 90 % 10 % %		到達目標  シーンに応じたドローイング技術と空間の立体表現力を身に付ける。図面を基に正確な空間の立体表現が出来、着彩も使い分けることが出来る。インテリアやエクステリアのデザインイメージが表現出来、実務で素早く対応出来るフリー手描きスケッチが描けるよ			
回	時間	授業内容	回				授業内容
1	1 2 3	授業概要説明 第1課題「ダイニングキッチンのトレース」 課題制作、提出	10	1 2 3	第4課題「ショップ見学とインテリアスケッチ演習」 店舗見学・撮影 スケッチ演習・レポート提出		
2	1 2 3	フリー手描き演習 点景演習 演習課題提示 演習課題提出	11	1 2 3			
3	1 2 3	第2課題「リビングルームの一消点ベース」出題・解説 " 下書き " 下書き・インキング	12	1 2 3			
4	1 2 3	第2課題の制作 " 着彩 " 仕上・提出	13	1 2 3	第5課題の制作 " ベースインキング " ベースインキング " 着彩		
5	1 2 3	校外学習「寺院スケッチ」 " 提出	14	1 2 3	第5課題の制作 " レイアウト・出力 " 提出		
6	1 2 3	第3課題「LDKの二消点ベースを描いてみよう」出題・解説 " プランニング " グリッド作成	15	1 2 3	好評・まとめ " クイックベース・水彩演習 ほか		
7	1 2 3	第3課題の制作 " 下書き " 下書き	16				
8	1 2 3	第3課題の制作 " インキング " インキング	17				
9	1 2 3	第3課題の制作 " 着彩 " 着彩 " 仕上・提出			準備学習…立体や空間を二次元で表現する演習なので、小さなスケッチ帳を日頃から携行し、気になった物やデザインのイメージ等をラフスケッチする癖をつけることが、実践に繋がると思います。		

## シラバス

科目名	建築CAD製図1	(必修・選択)	担当教員 稻上幸生 実務経験有 授業概要 建築CADソフトJW_cadの操作を習得し、卒業後の実務でのCADによる図面の作成方法等について学ぶ。 【実務経験】設計事務所、工務店での設計監理の経験を活かし、設計者としての考え方および技術を伝授する。	連絡先	
学科・学年	建築	学科		1 学年	
授業数	3 時間 × 15 週 合計 45 時間	3 単位			
授業期間	前期	・ (後期)		・ 通年	
授業形態	講義	・ (演習)		・ 実習 ( 50 分 / コマ )	
教科書・教材	やさしく学ぶ JW_cad☆テラックス				
評価基準	定期試験・臨時試験等	%	到達目標	CADの特徴を理解し、手描きで習得した建築製図や設計手法をCADで表現できるように、自分なりの操作方法を身につけることを目的とする。【事前学習】授業でのアドバイスを家庭学習に反映させ作業を進めること。	
	課題・レポート	80 %			
	出席数・授業態度	20 %			
	その他 ( )	%			
回	時間	授業内容	回	時間	授業内容
1	1	授業概要の説明	10	28	課題1: 基本操作を学びながら平面図を描く(5) 事務所ビルの2階平面図の作図
	2	JW_cadの基本操作・作図の練習(1) 作図と消去、保存、画面表示の操作、作図の編集		29	"
	3	"		30	" 課題1 事務所ビルの2階平面図提出
2	4	作図の練習(2) 家具の作図	11	31	課題2: 平面図を描く(1)
	5	"		32	"
	6	"		33	"
3	7	作図の練習(3)	12	34	課題2: 平面図を描く(2)
	8	教科書作図課題を作成する(1)(2)		35	"
	9	"		36	" 課題2提出
4	10	作図の練習(4)	13	37	練習課題: JW_cad操作の復習
	11	教科書作図課題を作成する(3)		38	"
	12	"		39	" 練習課題提出
5	13	作図の練習(5) 文字の記入、寸法の作図	14	40	プレゼンテーション図面の作成(1)
	14	"		41	"
	15	教科書作図課題を作成する(4)(5)		42	"
6	16	課題1: 基本操作を学びながら平面図を描く(1) 事務所ビルの1階平面図の作図	15	43	プレゼンテーション図面の作成(2)
	17	レイヤの概念とレイヤ操作練習		44	"
	18	"		45	"
7	19	課題1: 基本操作を学びながら平面図を描く(2) 事務所ビルの1階平面図の作図	16		
	20	"			
	21	"			
8	22	課題1: 基本操作を学びながら平面図を描く(5) 事務所ビルの1階平面図の作図	17		
	23	事務所ビルの2階平面図の作図			
	24	"			
9	25	課題1: 基本操作を学びながら平面図を描く(4) 事務所ビルの2階平面図の作図			
	26	"			
	27	"			

# シラバス

作成者:松原 綾

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
福祉住環境計画論1		建築学科/1年	2019/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	15回	1単位(15時間)	必須	松原 綾(実務経験有)
授業の概要				
高齢者障がい者に対して住みやすい住環境を提案するための福祉、建築などに関する幅広い知識を体系的に身につける。 【実務経験】設計事務所「アトリエmican」主宰の経験を活かし、バリアフリー住宅の考え方および作業プロセス及び技術を教える。				
授業終了時の到達目標				
高齢者や障がい者の具体的な事例に対して適切に対応できる。住環境整備に関する制度や設計指針の活用法、また福祉用具、介護用品から家具までの選択と利用方法を理解・習得し、適切なアドバイスができるようになる。				
回	テ ー マ	内 容		
1~4	第一章 暮らしやすい生活環境をめざし	1:授業説明・福祉住環境コーディネーターの資格試験概要 2:少子高齢社会と共生社会への道 3:福祉住環境の重要性と必要性 4:在宅生活の維持とケアサービス		
5~6	第二章 健康と自立をめざして	5:高齢者の健康と自立 6:障碍者が生活の不自由を克服する道		
7~8	第三章 バリアフリーとユニバーサルデザイン	7:バリアフリーとユニバーサルデザインを考える 生活を支える様々な用具 8:生活を支える様々な用具		
9~11	第四章 安全・安心・快適な住まい	9:住まいの整備のための基本技術 10:生活行為別に見る安心、安全、快適な住まい 11:生活行為別に見る安心、安全、快適な住まい		
12	第五章 安心できる住生活とまちづくり	12:ライフスタイルの多様化と住まい 安心できる住生活 安心して暮らせるまちづくり		
13~15	後期試験	13:後期試験 14:解答と解説 15:予備日		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
教科書:福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト 資料・参考資料:プリント配布	定期試験・臨時試験等	80.0%	心と体のバリアフリー社会を目指す意識を高め、具体的な知識と技術が身につくような講義とする。 【準備学習】 <ul style="list-style-type: none"><li>・家の中にあるバリアを探す。</li><li>・公共建築物におけるバリアフリー対応を探す。</li><li>・周囲のお年寄りと自分の違</li></ul>	
	出席数・授業態度	20.0%		

# シラバス

作成者:橋本 明美

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
建築CAD製図2		建築学科/1年	2019/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	45回	3単位(45時間)	必須	橋本 明美(実務経験有)

## 授業の概要

建築CADソフトVECTORWORKS(以下VW)の操作を習得し、建築製図の知識をもとに、CADによる図面の作成、管理について学ぶ。

【実務経験】橋本建築設計事務所での設計の経験を活かし、CADによる図面作成の技術を指導する。

## 授業終了時の到達目標

CADの特徴を理解し、手描きで習得した建築製図や設計手法をCADで表現できるように、自分なりの操作方法を身につける。

回	テーマ	内容
1	授業概要説明、VWの基本操作(1)	・画面の名称、画面の操作 ・図形の作図、図形の消去、図形の選択
2	VWの基本操作(2)	・スナップ操作 ・図形の編集①
3	VWの基本操作(3)	・図形の編集②
4	VWの基本操作(4)	・図形の前後関係 ・応用課題:基本ツールや編集コマンドを使ってできる模様
5	基本操作を学びながら平面図を描く(1)	・レイヤの操作 ・通り芯、壁を描く
6	基本操作を学びながら平面図を描く(2)	・壁に開口部をあける
7	基本操作を学びながら平面図を描く(3)	・窓、ドアを描く ・建具を配置する①
8	基本操作を学びながら平面図を描く(4)	・建具を配置する②
9	基本操作を学びながら平面図を描く(5)	・設備機器を描く
10	基本操作を学びながら平面図を描く(6)	・ハチング、寸法、文字を記入する 平面図を仕上げる
11	3Dの基本操作(1)	・3Dツールを使って図形を作図する ・視点の切り替え
12	3Dの基本操作(2)	・壁ツールの操作について ・3Dシンボルの作成
13	3Dの基本操作(3)	・応用課題:建物のモデリング
14~15	プレゼンテーション図面の作成(1)(2)	・着彩などの図面表現、レイアウトについて ・シートレイヤに図面をレイアウトする

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・徹底解説VECTORWORKS 2017-2018 基本編 ・課題資料:プリント配布	課題・レポート	80.0%	作成したデータを保存するため、USBフラッシュメモリを各自で用意して下さい。
	出席数・授業態度	20.0%	

【準備学習】教科書の次回授業範囲を読んでおく。

## シラバス

科目名	空間表現応用	○修・選択	担当教員 佐々木智子 実務経験有 授業概要 ・デザインにおける色彩の働き、重要性を知る。・系統的な色彩表示、さまざまな配色類型、色彩の心理的な側面を学ぶ。・色彩コンセプトに基づいた作品構成及びプレゼンテーションを行う。  【実務経験】パーソナルカラールームT・I、NPO法人力アーリストジャパン協会でのカラーコンサルティングの経験を生かし、		
学科・学年	建築	学科 1 学年			
授業数	3 時間 × 26 週 合計 78 時間	3 単位			
授業期間	前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 集中				
授業形態	講義 ・ 順序 ・ 実習 ( 50 分 / コマ )				
教科書・教材	色彩検定3級編公式テキスト 色彩検定2級3級過去問題集 新配色カード199a				
評価基準	定期試験・臨時試験等 課題・レポート 出席数・授業態度 その他( )	15 % 35 % 50 % % %	到達目標 ・色彩の基礎知識を学ぶことにより、空間デザインにおける表現をいっそう豊かにする。  【事前学習】カラー・デザインに関わる感性を養うため、常日頃より身の周りの“色”に注目しておく。(例:チラシ、ポスター、パッケージ等)美術展などにも積極的に足を運ぶこと。		
回	時間	授業内容	回	時間	授業内容
1	5 6 7	・講師自己紹介 ○学生アンケート ・デザインと色彩について ・風土と色の関係について ・色相環作成	14	5 6 7	・夏休み課題の提出 ・色彩検定対策 光と色
2	5 6 7	・カラーシステムの役割 ・PCCSについて ・ヒュートーンシステムを学ぶ ○PCCSトーン図作成  色彩検定3級編公式テキスト(p29~39)	15	5 6 7	・色彩検定対策 配色
3	5 6 7	・デザインコンセプトその1 ○トーンイメージに基づく平面構成演習	16	5 6 7	・色彩検定対策 色彩感情及び色の象徴
4	5 6 7	○色相イメージに基づく平面構成演習 同一色相配色、類似色相配色	17	5 6 7	・色彩検定対策 PCCS、色の三属性
5	5 6 7	○色相イメージを基にした、コラージュ演習 ○トーンイメージを基にした、コラージュ演習	18	5 6 7	・色彩検定対策 対比と同化
6	5 6 7	・色の心理的効果 色の連想と象徴 対比と同化 ○色彩感情を基にした、コラージュ演習  (p46~57) プロジェクター、パソコン使用	19	5 6 7	・色彩検定対策 問題演習
7	5 6 7	・デザインコンセプトその2 ○さまざまなCIの分析 ○CIをモチーフにした演習	20	5 6 7	・色彩検定対策 過去問題傾向解説
8	5 6 7	・基礎配色 色相配色、トーン配色  (p62~ )	21	5 6 7	○カラーイメージ演習 イメージスケール作成①
9	5 6 7	・基礎配色 アクセントカラー セパレーション グラデーション リズムとバランス	22	5 6 7	○カラーイメージ演習 イメージスケール作成②
10	5 6 7	○基礎配色小テスト ○配色分析演習	23	5 6 7	・近代デザイン史について ・レポート課題提示
11	5 6 7	○配色類型を基にした作品構成 アクセンカラーグラデーション 色相類似系 色相対称系 トーン類似系 トーン対称系	24	5 6 7	○自動配色演習 自分の配色のクセを知る 主観に頼らない配色を学ぶ
12	5 6 7	11回の続き	25	5 6 7	○レポート課題のプレゼンテーション
13	5 6 7	○プレゼンテーション ・夏休みの課題提示	26	5 6 7	・一年のまとめの講義

## シラバス

科目名	計画論1		必修・選択	担当教員 授業概要  藤山信博 実務経験有 小規模建築計画から、より広範囲にわたる大規模建築計画の基礎知識を学び、建築、インテリアをデザインする上で必要となる事項を修得する。 【実務経験】藤山建築デザイン事務所主催。建築、インテリアの計画、設計の実務経験を活かし指導する。	連絡先	
学科・学年	建築	学科	1学年			
授業数	1時間 × 15週	合計	15時間			
授業期間	前期	・ 後期	・ 通年			
授業形態	講義	・ 演習	・ 実習		( 50分 / コマ)	
教科書・教材	初学者の建築講座 建築計画					
評価基準	定期試験・臨時試験等		85%	到達目標  規模計画のための原単位と各室計画の要点を理解することができる。【事前学習】次回の授業内容範囲の教科書を予習する。		
	課題・レポート		%			
	出席数・授業態度		15%			
	その他( )		%			
回	時間	授業内容		回	時間	授業内容
1	1	第1章  授業内容の説明、評価方法の説明 計画と設計		10	1	第3章  幼稚園(保育所)
2	1	第2章  設計と計画		11	1	第3章  小学校・中学校
3	1	第2章  住様式と住宅の変化、戸建住宅		12	1	第3章  小学校・中学校
4	1	第2章  住様式と住宅の変化、戸建住宅		13	1	定期試験
5	1	第2章  集合住宅		14	1	第4章  生活圏とコミュニティ施設、図書館
6	1	第2章  集合住宅		15	1	第4章  図書館
7	1	第3章  集合住宅		16		
8	1	第3章  細部計画		17		
9	1	第3章  細部計画		18		

## シラバス

科目名	計画論1		必修・選択	担当教員	藤山信博 実務経験有	
学科・学年	建築 学科		1 学年	授業概要	小規模建築計画から、より広範囲にわたる大規模建築計画の基礎知識を学び、建築、インテリアをデザインする上で必要となる事項を修得する。 【実務経験】藤山建築デザイン事務所主催。建築、インテリアの計画、設計の実務経験を活かし指導する。	
授業数	1 時間 × 15 週 合計 15 時間		1 単位			
授業期間	前期・後期・通年・集中					
授業形態	講義・演習・実習(50分/コマ)					
教科書・教材	初学者の建築講座 建築計画					
評価基準	定期試験・臨時試験等 85 % 課題・レポート % 出席数・授業態度 15 % その他( ) %			到達目標	規模計画のための原単位と各室計画の要点を理解することができる。【事前学習】次回の授業内容範囲の教科書を予習する。	
回	時間	授業内容	回	時間	授業内容	
1	1	第4章 美術館	10	1	第6章 劇場、音楽ホール	
2	1	第4章 美術館、コミュニティーセンター・公民館	11	1	第6章 百貨店、スーパーマーケット	
3	1	第5章 高齢社会と建築計画	12	1	第6章 駐車場	
4	1	第5章 病院	13	1	第7章 外部空間の計画手法	
5	1	第5章 病院	14	1	第7章 外部空間の計画手法	
6	1	第5章 高齢者施設	15	1	定期試験	
7	1	第6章 規模計画と経済効率、事務所ビル	16			
8	1	第6章 規模計画と経済効率、事務所ビル	17			
9	1	第6章 劇場、音楽ホール	18			

# シラバス

作成者:松尾兆郎

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
建築デザイン1		建築学科/1年	2019/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	90回	6単位(90時間)	必須	松尾兆郎(実務経験有)
授業の概要				
<p>建築の設計について、動線計画、断面計画、グリッドプラン、敷地計画などの設計の基本手法を実践的に習得するとともに、提案力と独創性を実践的に習得する。また、作品としての表現力を向上させる。建築設計演習2(2年生)と合同授業。</p> <p>【実務経験】ゼネコン設計部の経験を活かし、公共建築の設計の知識と技術を教える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>建築設計プロセスを理解できる。さらにそれらを活かして、卒業制作へ発展させる。また、基本となる表現テクニックが身につく。</p>				
回	テーマ	内 容		
1	授業概要説明 第1課題「都市環境デザイン」 1, 2年生混成共同設計	マイクロオープンスペース 資料収集、事例紹介、デザインテーマ・コンセプト検討		
2-5	デザイン案検討発表、デザインレビュー	デザイン案発表 デザインレビュー		
6	合同プレゼン			
7	第2課題「美術館」 1, 2年生混成共同設計 デザイン案検討発表、デザインレビュー	周辺環境に配慮した開かれた美術館 美術館計画確認、敷地設定、事例調査、資料収集、 デザインテーマ・コンセプト検討		
8-12	デザイン案検討発表、デザインレビュー	デザイン案発表 デザインレビュー		
13	合同プレゼン			
14	第3課題2年「公共図書館」 1年「マイクロライブラリー」 個人設計	公共に寄与する開かれた図書館 住居等に併設されるマイクロライブラリー 図書館計画確認、敷地設定、事例調査、資料収集、 デザインテーマ・コンセプト検討		
15-19	デザイン案検討発表、デザインレビュー	デザイン案発表 デザインレビュー		
20	合同プレゼン			
21-30	第4課題「修了制作」 デザイン案検討発表、デザインレビュー	敷地設定、事例調査、資料収集、デザインテーマ・コンセプト検討 模型、図面、コラージュ作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント		授業態度(出席を含む)	20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、授業内で指示する
		課題・レポート	80.0%	

# シラバス

作成者:岡田 英治

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
建築製図1		建築学科／1年	2019／通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	90回	6単位(90時間)	必須	岡田英治 (実務経験有)

## 授業の概要

建築製図の基礎を実際の作図を通して習得する。

また、作図を通して建築・インテリア各部の基本的な名称、納まりなども学習する。

主に木造2階建て住宅を教材とし、鉄筋コンクリート造についても行なう。

### 【実務経験】

設計事務所(浅葱建築工房)での企画・設計・監理の業務経験を活かし、図面作成の手順・作図に必要な知識だけでなく、建築に関わる知識全般について合わせて教示する。

## 授業終了時の到達目標

二級建築士2次試験(製図)課題の答案レベルの作図表現を目指す。

CAD製図、実務のために必要な図面を読み取る能力も身に付ける。

回	テ ー マ	内 容
1～6	ガイダンス 第1課題:「線の練習」	授業の注意事項、概要説明及び製図用具の説明。 太線、中線、細線の描き分けと、実線、破線、点線の線種の描き分けの練習。
7～18	第2課題:「木造住宅 配置図・平面図」	教科書の木造2階建て住宅の配置図、各階平面図を作図する。
19～27	第3課題:「木造住宅 断面図・立面図」	教科書の木造2階建て住宅の断面図・立面図を作図する。
28～39	第4課題:「鉄筋コンクリート造住宅 配置図・平面図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の配置図、各階平面図を作図する。 <本課題までを前期評価の対象とする。>
40～48	第5課題:「鉄筋コンクリート造住宅 断面図・立面図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の断面図・立面図を作図する。
49～51	実務の設計図面とその施工中、竣工時の様子の紹介。	担当教員がこれまでの実務の中で設計・監理を担当してきた実際の図面(CAD図面)と、その図面を基に建設された建築物の施工中、竣工時の写真の紹介。(木造住宅、鉄筋コンクリート造住宅)
52～56	第6課題:「鉄筋コンクリート造住宅 矩計図」	教科書の鉄筋コンクリート造2階建て住宅の矩計図を作図(トレース)する。
57～60	第7課題:「木造住宅 矩計図」	教科書の木造住宅の矩計図を作図(トレース)する。
61～69	第8課題:「木造住宅 平面詳細図・展開図・天井伏図」	教科書の木造2階建て住宅の平面詳細図(一部)、展開図を作図する。 教科書には記載のない天井伏図についても作図する。
70～81	第9課題:「二級建築士製図試験過去課題答案例」	過去の二級建築士試験(製図)で出題された課題の模範答案例を作図する。 <本課題までを後期評価の対象とする。>
82～89	修了制作	これまでに習得した作図の知識を基に修了制作の作図を進める。
90	テスト	これまでの作図、実際の測定を通して習得したスケール感の確認をする。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
教科書:初学者の建築講座 建築製図 第3版	課題提出物	80.0%	自分の考えを的確に人に伝えるための手段「図面」の基礎を学びます。
参考書:構造用教材	出席率・授業態度	20.0%	
教材:配布プリント、製図用具一式			【準備学習】 教科書に説明のある作図の手順を一読しておくこと。

## シラバス

科目名	材料学	必修	選択	担当教員	井上珠美・実務経験あり
学科・学年	建築	学科	1学年	授業概要	建築・インテリア空間に配置されるものすべてが「インテリアエレメント」に該当する。項目ごとに、種類および分類を写真や実製品を確認し、知識を深めていく。なお、知識定着のため前期2回のテストを実施。 【実務経験】 INOTA DESIGNでのIC実務と資格講座講師の経験を活かし、インテリアを学問的に伝える。
授業数	1時間 × 15週 合計 15時間		1単位		
授業期間	前半期	・後半期	・通年	・集中	
授業形態	講義	・演習	・実習	( 50分 / コマ)	
教科書・教材	・世界で一番やさしいインテリア ・やさしい建築材料	・プリント	・各種カタログ		
評価基準	定期試験・臨時試験等 課題・レポート 出席数・授業態度 その他( )	80 % % 20 % %	到達目標	各エレメントの商品知識と専門用語を修得し、それらを組み合わせ、建築・インテリア空間をトータルにデザイン提案できる力をつける。 【事前学習】 日常から身の回りのインテリアを見直す。	
回	時間	授業内容	回	時間	授業内容
1	1	授業概要説明 インテリアエレメントとは	10	1	開口部・建具 開口部の機能 建具の種類(襖・戸・障子) 建具のデザイン・開形式 窓の種類
2	1	家具① 家具の分類 家具の名称 椅子のデザイン・歴史	11	1	和室作り 各部名称 天井 畳の種類・敷き方
3	1	家具② 人間工学・人体寸法 家具寸法	12	1	インテリアアクセサリー 絵画・食器・植物・ファブリック 他 * 第2回試験のアドバイス 設備機器・開口部・和室の作り・インテリアアクセサリーなど
4	1	照明 照明の基礎知識 照明器具 光源 建築化照明 照明器具のデザイン	13	1	第2回試験(30分)
5	1	ウインドウトリートメント①窓装飾の機能と役割 窓装飾の機能と役割 カーテンの種類 カーテンのスタイル ブラインド・スクリーンなど	14	1	建築材料の概要① 歴史 建築材料の概要② 規格・分類・性能 * 第2回試験返却
6	1	設備機器 ①キッチン キッチンのレイアウト キッチンの種類 システムキッチン  * 第1回試験のアドバイス 家具・照明・ウインドウトリートメントなど	15	1	木材① 種類 特徴 強度
7	1	第1回試験(30分)  設備機器 ②洗面化粧台	16		
8	1	設備機器 ③浴槽  設備機器 ④トイレ  * 第1回試験返却	17		
9	1	↓	18		

## シラバス

科目名	材料学	必修	選択	担当教員	井上珠美・実務経験あり
学科・学年	建築	学科	1 学年	授業概要	一般的な建築材料を構造材料、仕上げ材料などいくつかの分野に分け、性能・特性と使われ方の基礎知識を学ぶ。画像、実物サンプルを見て理解する。確認のためテストを2回実施する。
授業数	1 時間 × 15 週	合計	15 時間	1 単位	
授業期間	前期	・ (後期)	・ (通年)	・ 集中	
授業形態	講義	・ 演習	・ 実習	( 50 分 / コマ)	
教科書・教材	・世界で一番やさしいインテリア ・やさしい建築材料	・プリント	・各種カタログ		INOTA DESIGNでのIC実務と資格講座講師の経験を活かし、材料学を教授する。
評価基準	定期試験・臨時試験等 課題・レポート 出席数・授業態度 その他( )	80 % % 20 % %	到達目標		建築がどのような材料でできているか? 材料の歴史、特徴を知り、PLANに活かす。建築建材の専門用語を理解する。 【事前学習】建築物・インテリア空間にある物品、材料に意識・関心を持つこと。
回	時間	授業内容	回	時間	授業内容
16	1	木材② 木材の構造 特徴	25	1	その他の材料 塗料 接着剤 プラスチック シックハウス
17	1	木材③ エンジニアリングウッド 水分 気取り 規格	26	1	床・壁・天井 仕上材 各々仕上材の要求項目と条件
18	1	コンクリート① コンクリートとは セメント骨材 水・混和材料	27	1	性能別材料 防火 "
19	1	コンクリート② コンクリートの性質 " 種類 " 製品	28	1	防水 " 耐火 " 断熱 " 防音 " 吸音 "
20	1	鋼材 " の特徴 " 性質 " 種類 試験の説明	29	1	まとめ 試験の説明
21	1	後期試験1	30	1	後期試験2 答案用紙返却 解答説明 配点の説明 予備
22	1	焼製品 タイル レンガ 瓦 衛生陶器			
23	1	ガラスと石 " の特徴と種類			
24	1	左官材料 左官とは 特徴 左官工事 ボード類について			

## シラバス

作成者:松尾兆郎

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会研究1		建築学科／1年	2019／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
50分	50回	4単位 (50時間)	必須	西尾通哲、松尾兆郎

## 授業の概要

学生間およびチューターとの個別およびグループアセスメント  
また、随時学校行事等に付随する自己学習内容の総合的時間とする

## 授業終了時の到達目標

- ・学習活動を振り返る習慣が身に付く
- ・振り返りに寄って弱点や出来たことに自覚的になる

回	テ ー マ	内 容		
1～7	オリエンテーション	学校、学生生活、授業、スケジュール、学則等に関するレクチャー、学生生活の心得、その他準備等		
8～19	定期アセスメント	学生手帳等を活用した、週ごとの学習記録の情報共有と面談		
20～39	デザインイベントBRUCKE	デザインイベントで実施する（参加する）各種イベントの企画、運営、支援等		
40～50	研修旅行等 特別活動	自ら課題設定を行い、学習し、振り返って自分の創作に生かすまでを体験的に学習する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
-		出席率 課題・レポート	50.0% 50.0%	【準備学習】次回の授業内容を踏まえて、授業内で指示する。

**シラバス**

科目名	社会人基礎講座	必修選択	担当教員	西川 覚 実務経験有
学科・学年	建築学科	学科	1学年	
授業数	1時間 × 15週 合計 15時間	授業概要		・進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける 【実務経験】 株式会社西川建築設計事務所にて、建築設計業務に従事する。 実務経験8年。 ・建築設計業務の実務経験を活かした指導を行う。
授業期間	前期・後期・通年・集中			
授業形態	講義・演習・実習(50分/コマ)			
教科書・教材	就職活動実践!ワークブック			
評価基準	定期試験・臨時試験等 % 課題・レポート 10 % 出席数・授業態度 50・40 % その他( ) %	到達目標		・基本的な(志望企業を考えないで)履歴書の作成が出来る 【事前学習】授業でのアドバイスを日常生活や授業に取り入れていくこと。メモを必ず忘れない。
回	時間	授業内容	回	時間
1		・社会人基礎講座の目的を知る ・前期授業の内容紹介	10	
2		・授業の取り組み方 ・スケジュール管理・メモの重要性	11	
3		・将来の自分の姿を考える ・専門学校2年間の過ごし方	12	
4		・働くとお金(人生のマネープランを考える)	13	
5		・履歴書の意味と書き方の注意点 ・履歴書の作成	14	
6		・履歴書の作成	15	
7		・履歴書の作成 ・自分の強みを考える	16	
8		・履歴書の作成 ・自己PR文(自己紹介文作成)	17	
9		・履歴書の作成 ・自己PR文(自己紹介文作成)	18	

シラバス

科目名	社会人基礎講座	必修選択	担当教員	西川 覚 実務経験有
学科・学年	建築学科	学科	1 学年	
授業数	1 時間 × 15 週 合計 15 時間	1 単位	授業概要	・進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける 【実務経験】 株式会社ルート8年穴吹デザイン専門学校就職担当14年のキャリア支援経験を活かした指導を行う。
授業期間	前期 · 後期 · 通年 · 集中			
授業形態	講義 · 演習 · 実習 ( 50 分 / コマ )			
教科書・教材	就職活動実践！ワークブック			
評価基準	定期試験・臨時試験等 % 課題・レポート 10 % 出席数・授業態度 50・40 % その他( ) %	到達目標	・基本的な(志望企業を考えないで)履歴書の作成が出来る 【事前学習】授業でのアドバイスを日常生活や授業に取り入れていくこと。メモを必ず忘れない。	
回	時間	授業内容	回	時間
1		・後期授業の内容紹介	10	・面接で聞かれることを知っておく ・面接の注意点(してはいけないことの理解)
2		・企業研究と仕事研究の重要性 ・就職活動の流れを知る	11	・進路調査票記入注意点 ・進路調査票記入
3		・求人票の見方を知る	12	・進路面談について ・進路調査票記入
4		学校ポータルサイトの見方を知る	13	・就職CC面談
5		・キャリア支援ルームの解説 ・過去の求人票と情報サイトから興味のある仕事を探す	14	・就職CC面談
6		・過去の求人票と情報サイトから興味のある仕事を探す	15	・就職CC面談
7		・過去の求人票と情報サイトから興味のある仕事を探す	16	・就職CC面談
8		・会社訪問/説明会に行く際のルールとマナーを知る ・お礼状の書き方を知ろう	17	・就職CC面談
9		・面接の種類 ・面接での立ち居振る舞いを知る	18	

# シラバス

作成者:西尾 通哲

授業の概要				
すまい、居住空間(住宅、集合住宅等)の設計・デザインについて、演習課題を通して、技術と知識を習得する。				
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	90回	4単位(90時間)	必須	西尾通哲 (実務経験有)
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まい、住宅設計の基本を理解する</li> <li>・コンセプトを導き、設計内容やプレゼンテーションに反映させる (発展的目標)</li> <li>・現代建築を研究し、先進的な設計・デザインを考えられる</li> </ul>				
回	テーマ	内 容		
1～18	6x6x6:6mキューブ居住空間の設計	1w:課題説明、練習課題トレース 2w:練習課題 模型制作 3w:練習課題 完成、レビュー 4w:応用課題(自主設計) エスキスチェック 5w:スタディ模型 レビュー 6w:プレゼンテーション、講評会		
19～45	(木造)小住宅の設計	1w:課題説明、敷地リサーチ 2w:練習課題 ドローイング 3w:練習課題 模型 4w:練習課題 完成レビュー 5w:応用課題(自主設計):エスキスチェック 6w:応用課題 スタディ模型 レビュー 7w:応用課題 ドローイングボード レビュー (夏休み) 8w:応用課題 プrezentation、講評会 9w:前期まとめ 基礎知識&技術確認テスト		
46～63	集合住宅の設計	1w:課題説明、敷地リサーチ 2w:ブロックプラン 基本型トレース 3w:ブロックプラン 応用 4w:専有部分(住戸内)プラン 基本形トレース 5w:専有部分プランニング 6w:スタディ模型 レビュー、講評会		
64～78	併用住宅の設計	1w:課題説明、敷地リサーチ、エスキス 2w:エスキス チェック 3w:スタディ模型 レビュー 4w:基本設計プランニング エスキス 5w:基本設計プランニング レビュー、講評会		
79～90	集合住宅or併用住宅 プrezent制作	ドローイング、模型制作を進め、 プレゼンテーションボードを完成させる		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
教科書:インテリア(コンパクト建築設計資料集成) 課題資料・参考資料:プリント配布 教材:製図道具一式、模型制作道具一式	授業態度(出席を含む)	20.0%	人間の基本的な居場所である「すまい」に関する設計を学びます。	
	課題・レポート	80.0%		
<b>【準備学習】</b> 授業でのアドバイスを家庭学習に反映させ作業を進める こと、専門雑誌やwebなどの 関連参考資料を常に準備して おくこと。				

## シラバス

科目名	ショッップデザイン	必修	選択	担当教員	河江正雄（実務経験有）
学科・学年	建築	学科	1学年	授業概要	実際の設計業務に即し前期は1授業1テーマとして、イメージ模索・基本計画、プレゼンボードの作成、プレゼン資料の作成をする。 【実務経験】河江正雄建築設計事務所での設計監理業務の経験を活かし、設計者としての計画・設計への考え方及び方法・技術を教える
授業数	3時間 × 15週	合計	45時間	3単位	
授業期間	前期	・	後期	・	通年
授業形態	講義	・	演習	・	実習（50分/コマ）
教科書・教材	建築プレゼンの綱、製図道具、模型制作道具一式				
評価基準	定期試験・臨時試験等 % 課題・レポート・提出物 100 % 出席数・授業態度 % その他（ ） %		到達目標	実際に設計を行う際に必要である業務を1年に渡って習得する。 実践で必ず必要となるプレゼン能力も同時に高める。 【事前学習】授業でのアドバイスを家庭学習に反映させ作業を進める こと。専門雑誌やWebなどの関連参考資料を常に準備しておく。	
回	時間	授業内容		回	時間
1	1	1年間の授業内容の説明、資料配布		10	1
	2	課題01 自己紹介 発表			2
	3	課題02 1年間の授業の流れを聞いて 課題03-1 の説明			3
2	1	課題02 の提出		11	1
	2	課題03-1 の提出			2
	3	課題03-2 の説明 模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			3
3	1	課題03-1 の提出		12	1
	2	課題03-2 の説明			2
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			3
4	1	課題03-1 の提出		13	1
	2	課題03-2 の説明			2
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			3
5	1	課題03-1 の提出		14	1
	2	課題03-2 の説明			2
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			3
6	1	課題03-1 の提出		15	1
	2	課題03-2 の説明			2
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			3
7	1	課題03-1 の提出		16	
	2	課題03-2 の説明			
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			
8	1	課題03-1 の提出		17	
	2	課題03-2 の説明			
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			
9	1	課題03-1 の提出		18	
	2	課題03-2 の説明			
	3	模型の作り方の基本（キューブ1種類 各3個作成・提出）			

## シラバス

科目名	ショップデザイン	必修	選択	担当教員	河江正雄（実務経験有）		
学科・学年	建築	学科	1学年	授業概要			
授業数	3時間 × 15週 合計 45時間	3単位			実際の設計業務に即し前期は1授業1テーマとして、イメージ模索、基本計画、プレゼンボードの作成、プレゼン資料の作成をする。		
授業期間	前期・後期・通年・集中				【実務経験】河江正雄建築設計事務所での設計監理業務の経験を活かし、設計者としての計画・設計への考え方及び方法・技術を教える		
授業形態	講義・演習・実習(50分/コマ)						
教科書・教材	建築プレゼンの捷 製図道具、模型制作道具一式						
評価基準	定期試験・臨時試験等 % 課題・レポート・提出物 100 % 出席数・授業態度 % その他( ) %			到達目標	実際に設計を行う際に必要である業務を1年に渡って習得する。 実践で必ず必要となるプレゼン能力も同時に高める。 【事前学習】授業でのアドバイスを家庭学習に反映させ作業を進めること。専門雑誌やwebなどの関連参考資料を常に準備しておく。		
回	時間	授業内容			回	時間	授業内容
1	1	後期授業の流れ説明			10	1	課題04-01 模型製作
	2	課題03-15 の提出				2	
	3	課題03-16 の説明 主張する「みせ」のコンセプト（文章、箇条書）提出 03-19 おいしい東京 計画書 提出				3	主張する「みせ」 プrezenボードA1 コンセプトA4 提出 発送
2	1	課題03-16 の提出			11	1	課題04-01 模型 提出
	2	課題03-17 の説明				2	
	3	主張する「みせ」 コンセプト 再検討、再提出 03-19 おいしい東京 計画書 提出				3	03-20 建築見学 の発表
3	1	課題03-17 の提出			12	1	課題04-01 仮プレゼンボード 提出
	2	課題03-18 の説明				2	
	3	主張する「みせ」 ラフプラン、図面、イメージ写真 提出				3	03-20 建築見学 の提出
4	1	課題03-18 の提出			13	1	課題04-01 仮プレゼンボード 提出
	2	課題04-01 の説明・作業開始				2	
	3	主張する「みせ」 ラフプラン、図面、イメージ写真 提出				3	
5	1	課題04-01 コンセプトの提出			14	1	課題04-01 プrezenボードA3 2枚・模型 提出
	2					2	
	3	主張する「みせ」 ラフプランをA3にまとめ提出				3	
6	1	課題04-01 平面図 提出			15	1	予備日 一年をふりかえって
	2					2	
	3	主張する「みせ」 ラフプランをA3にまとめ提出 03-19 おいしい東京 まとめ 提出				3	
7	1	課題04-01 立面図 提出			16		
	2						
	3	主張する「みせ」 ラフプラン修正図をA3にまとめ提出					
8	1	課題04-01 断面図 提出			17		
	2						
	3	主張する「みせ」 プrezenボードA2 コンセプトA4 提出					
9	1	課題04-01 配置図 提出			18		
	2						
	3	主張する「みせ」 プrezenボードA2 コンセプトA4 提出					

## シラバス

作成者:松尾兆郎

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
修了制作		建築学科/1年	2019/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	68回	4単位(68時間)	必須	松尾兆郎(実務経験有)
授業の概要				
1年間の総括として住宅、集合住宅を自分でテーマを決めてそれについて設計し、発表を行う。				
【実務経験】ゼネコン設計部の経験を活かし、建築の設計の知識と技術を教える。				
授業終了時の到達目標				
自分でテーマを決めて、コンセプトに沿って設計をまとめることができる。				
回	テーマ	内容		
1	授業概要説明 第1課題「修了制作」	テーマ設定のための調査		
2~65	デザイン案検討	コンセプト立案、エスキス、ラフ模型検討 作図、模型製作、ボード構成		
66~68	最終プレゼン	完成模型、作品ボード		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
製図道具一式		課題	80.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、授業内で指示する。
		出席	20.0%	

## シラバス

科目名	空間表現基礎2			(必修)選択	担当教員	池田美和子実務経験有	
学科・学年	建築学科			学科 1学年	授業概要	造形演習を中心とした表現活動を通して、幅広い表現を知り、表現と生活との関係を考える。	
授業数	3時間 × 13週 合計 39時間			2単位			
授業期間	前期・後期・通年・集中						
授業形態	講義・演習・実習(50分/コマ)						
教科書・教材							
評価基準	定期試験・臨時試験等 % 課題・レポート 80 % 出席数・授業態度 20 % その他( ) %				到達目標	多様な表現の中から意図に合う表現を選んだり、組み合わせたりして独創的な表現をすることができる。 【事前学習】自身の表現活動について振り返っておく。	
回	時間	授業内容			回	時間	授業内容
1	1 2 3	授業概要説明 自己紹介			10	1 2 3	モデュロール 自分のモデュロールを作る
2	1 2 3	スケッチ① 造形演習①直線の意識			11	1 2 3	モデュロールを用いたデザイン 空間ごとの体感
3	1 2 3	スケッチ② 造形演習①直線の意識【課題制作】 プレゼンテーション・講評			12	1 2 3	モデュロールを用いたデザイン ペアワーク モデュロールを利用したデザイン依頼
4	1 2 3	スケッチ③ 造形演習②曲線の意識			13	1 2 3	まとめ
5	1 2 3	スケッチ④ 造形演習②曲線の意識【課題制作】			14		
6	1 2 3	スケッチ⑤ 造形演習②曲線の意識【課題制作】 プレゼンテーション・講評			15		
7	1 2 3	スケッチ⑥ 造形演習③造形要素の組合せ【課題制作】			16		
8	1 2 3	スケッチ⑦ 造形演習③造形要素の組合せ【課題制作】			17		
9	1 2 3	スケッチ⑧ 造形演習③造形要素の組合せ【課題制作】 プレゼンテーション・講評			18		

## シラバス

科目名	福祉住環境計画論2	必修・選択	担当教員 授業概要	松尾兆郎実務経験有	
学科・学年	建築	学科		ユニバーサルデザインの概念を正しく理解し、その基礎的知識を習得する。	
授業数	1 時間 × 15週 合計 15時間	1 単位		UDコーディネータ3級 認定校講座の実施。	
授業期間	前期・後期・通年・集中			3級試験を定期試験とする。	
授業形態	講義・演習・実習 ( 50分/コマ)			【実務経験】UDコーディネータ2級インストラクターの経験を活かし3級検定を指導する。	
教科書・教材	とことんやさしいユニバーサルデザインの本				
評価基準	定期試験・臨時試験等	60 %	到達目標	ユニバーサルデザインの基礎的事項を正しく理解し説明できる。	
	課題・レポート	%		3級資格取得。	
	出席数・授業態度	40 %		【準備学習】次回の授業内容を踏まえて、授業内で指示する	
	その他( )	%			
回	時間	授業内容	回	時間	授業内容
1	1	授業概要説明 第1章 1、2	10		第3章 36, 37
2	1	第1章 4~7	11		第3章 38 第1章 3
3	1	第1章 8~11	12		UDC3級 公式スライド1
4	1	第1章 12	13		UDC3級 公式スライド2
5	1	第1章 13、14	14		第4章 まとめ
6	1	第2章 15	15		試験(UDC3級検定)9月11日
7	1	第3章 29、30	16		
8	1	第3章 32	17		
9		第3章 33, 35	18		